

60年余の触五山茶の歴史に、ペットボトルという新たな1ページが加わりました。

◆触五山茶をペットボトルに！！

60年以上の間、触五山茶園活動は脈々と上之郷中学校で受け継がれてきました。そんな中、平成30年度、さらにこの茶園活動を「地域の誇りとして、もっと広げることはできないだろうか」とアイデアを出し合う中で、触五山茶のペットボトル化の案が生徒の中から出てきました。そこで、工場に問い合わせると、実際に工場で触五山茶の茶葉を使って、500mLのペットボトルのお茶を作ってもらうためには、最低でも24000本を製造しなければならないことが判明しました。つまり、商品化するという事は、24000本のペットボトルを販売しなければならないという大きな課題が出てきたのです。在庫が出せると赤字になってしまいます。そこで、生徒たちは、ペットボトルの触五山茶を販売していただける店を自分たちで探し、店の方できるだけ多く買っていただけるよう説得をする活動を始めました。

◆地域で受け入れてもらえるのか？

商品化したペットボトルの触五山茶を地域の方が、本当に買ってくださるのだろうか？地域の方に買っていただけなければ、商品化の意味はなくなってしまいます。そこで、地域住民が多く集まる公民館祭りで、アンケート調査を実施しました。住民の皆さんの反響と期待の大きさを知ることができ、商品化に向けて、大きな勇気をいただける結果となりました。

◆マスコットキャラクターとパッケージをデザイン

商品の販売促進をするためには、マスコットキャラクターやパッケージのデザインはとても重要な要素になります。そこで、上之郷中学校ならではのデザインを一生懸命考えました。生徒、職員が一丸となってアイデアを出し、プロのデザイナーのアドバイスをいただき、納得のいくものを生み出すことができました。地域の店の方へのプレゼンテーションでは、マスコットキャラクターやパッケージ

はとても好評で、説得の材料として大変効果的でした。

◆大きな喜びが！！

一般社団法人「てらす」さんの協力を得て、令和元年7月、待望のペットボトルの触五山茶を発売することができました。工場から届いた商品化されたペットボトルを見たときの感動は、大変大きなものがありました。「よってりゃあ みたけ」など地域のイベントや町内の販売協力店で販売しています。他の学校の中학생や多くの卒業生が買ってくれています。「飲みやすくて、おいしい」という感想も多く学校に寄せられています。苦労の連続でしたが、触五山茶のペットボトル化が実現でき、本当にうれしい思いでいっぱいです。商品化に力を貸していただいた、地域の多くの皆様に、感謝いたします。誠にありがとうございました。



生徒たちが考えたマスコットキャラクター



今年7月に新発売したペットボトル触五山茶